



第 484 号 平成30年11月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

京都市養護教育研究会との懇談会

会 長 林 鐘 声

9月1日(土)に学校医会9人、養護教育研究会7人、教育委員会の長光裕子指導主事の出席で懇談会を開催しました。

昭和63年に始まったこの会は、今年で31年目を迎えたこともあり、校医ニュースに報告のあった30年分をまとめ記録集をつくり、出席者にお渡ししました。学校医の皆様には今年度の学校医会誌に掲載しますので、お目通し下さい。健診時の着衣のこと、健診日程の決め方、学校医の健診態度など基本的な問題がくり返し討議されてきましたが、それ以外にも様々なことが懇談内容となってきました。それを振り返ることの出来る唯一の資料となります。最近では、幸いなことに養護教諭からの学校医への注文は目立って少なくなっています。顔と顔を合わせる懇談会を定期的に続けてきたことで、お互いのすれ違いが少なくなり距離間も短くなるとともに、先生方も学校で意思疎通を図ってきた賜物であるに違いありません。

今年の懇談会の眼目は「肥満とやせの指導マニュアル」の改訂でした。平成27年に「児童生徒等の健康診断マニュアル」が日本学校保健会から出版され、その中に、成長曲線に基く肥満とやせの分類に従う専門医受診の基準が示されました。その通りにすると受診指示をうける児童生徒が多く出過ぎるとの批判があります。学校で肥満とやせの生活指導するのは養護教諭であることから、その点を見据えた「肥満とやせの指導マニュアル」を学校医会が中心になって作製し、学校に配布したのは平成12年でした。今まで広く利用されてきましたが、一方で、これを知らない若い養護教諭も少なくない現状があります。

改訂の際には、小児のメタボリック症候群の診断基準や成長曲線に基く肥満とやせの分類を織り込むことが必要と考えていたところ、それに応えて西村康孝理事が、小中高生を対象とした原案を簡潔にまとめましたので、今回の懇談会でそれを提示して、一緒に検討する機会とした訳です。大筋において異論なく上首尾となりました。細かい事は小委員会で詰めることとし、最終原稿は今年末を目途に完成させ、学校への配布は電子媒体で、学校医には紙媒体で行うことに決まりました。先生方からの意見も頂き、2～3年かけて学校現場で役立つものを作りたいと考えています。

運動器検診については、養護教育研究会から前屈テストを始め脊柱検査の評価をきっちりと行なわない学校医がいるとの指摘を受けました。個別対応で十分な事例と判断し、学校医会から当の学校医へ問い合せすると返事を致しました。これとは別に、学校医会から養護教育研究会にお礼を申し上げました。というのも、今年度は平成28年と同じく学年毎の検診結果の全報告をお願いしていたところ、8月末に教育委員会を介して全学校から集計結果を入手することができたことによります。平成28年の結果との比較検討から、現状と課題について報告することがお返しと考えており、12月3日の養護教員冬季研修会の場で発表する予定となっています。こうした仕事が1つの足がかりとなり、次の仕事へと連なり、お互いの協調関係が更に深まっていくのだと思います。この会を企画し、継続してきた諸先輩に敬意を表します。

ふれあい子ども相撲大会に行ってきました

本年も恒例の相撲大会が9月22日（土）に市立大原野中学校の土俵で行なわれました。23回目になります。大原野神社の奉納相撲は6年生が出場しますので、この子ども相撲大会は奉納相撲の前相撲のような位置づけと、教育委員会の生涯学習の学校コミュニティプラザ事業「洛西南ゾーン」の位置づけとの両面をもっているようです。

3年生、4年生、5年生の男女別、3人一組で試合が行なわれます。本年は、大枝小学校と桂坂小学校が学校行事の為、不参加となり、3年男子8チーム・女子7チーム、4年男子8チーム・女子6チーム、5年男子13チーム・女子10チーム、151名の参

福西小学校校医 奥村正治

加者（3人そろわず2名で参加のチームあり）でした。2校減った為、試合数も減り、予定より早く15時50分頃に終了しました。

医務の関係では、8人がころんでの切傷や擦過傷、2名が頭部打撲と言う事で、医務所に来所しました。いずれも軽症で、病院等の御世話になるケースはありませんでした。しかし、頭部打撲に関しては後ほど様体が変わる事もある事を参加していた保護者に話をし、救急の部は終了しました。

土俵の砂も上等にさせていただいたようで、医務所来所も少なかったように思います。

第47回 京都市小学生陸上競技記録会

西京高等学校医 杉本英造

児童の健全育成、体力向上を目指し10月21日（日）（9：30～17：00）西京極総合運動公園にて行なわれました。長村吉朗先生と医務室出務しましたので報告します。昨年この記録会は台風の影響で中止となっており2年ぶりです。今回は素晴らしい秋晴れの1日でした。小学校6年生が出場対象で、今日のために練習を積み競技場周囲は児童、教員と応援する父兄・兄弟の熱気であふれていました。

☆陸上競技会：100m走～746（1123）人
（男：359（536）、女：387（587））
50mハードル～125（172）人
（男：77（89）、女：48（83））
ソフトボール投げ～208（196）人
（男：143（136）、女：65（60））
走り幅跳び～95（137）人
（男：61（93）、女：34（44））
走り高跳び～58（44）人
（男：27（27）、女：31（17））
400mリレー～225（291）チーム
（男：122（161）、女：103（130））

☆持久走記録会（1500m）：812（972）人

（男：453（564）、女：359（408））

カッコ内は2年前の出場者数ですが、100m走では400人近く少なく、走り高跳び以外かなり減少しています。1年間のブランクの影響もありますが、最近の児童は、塾・野球・サッカー等ほかの行事に出かけ記録会への参加が減少しているとのことです。時代背景を反映しているのでしょうか？

医務室へは、14名～擦過症・挫傷：4、捻挫：4、打撲：1、左橈骨・尺骨骨折：1名、膝じん帯損傷：1、嘔吐：1、胸痛：1名、その他：1名が来室しました。前腕骨折とじん帯損傷の2名を提携先の京都市立病院に搬送しました。膝じん帯損傷した児童は100m走のスタート第一歩での負傷でした。骨折は持久走での転倒で、前歯1本も折れていたようです。昼食前に2名の糖尿病児童がインスリン注射のため来室。そのほか生理用品貸し出し2名。

メインスタンドは控え選手と家族の応援でいっぱいでしたが、競技場のグラウンドは、さすがに広く出場選手と役員以外はいないため、東西の100m直

線を男女に分かれて行われた100m走は閑散とした雰囲気でした。競技は6時間休みなしで行われ、多くの教員の協力で無事終わることができました。しかし、参加人数減少にもかかわらず、各競技の記録集計に手間取り、表彰まですべての終了は17時でした。2年の時間経過は、運営ノウハウの引継ぎ・伝

承の面でも影響が出たようで課題でした。今回、医務室と一緒に勤務した養護教諭は西京高校の卒業生で、いろいろ話をして楽しい時間が過ぎました。校歴も10年を超えると今後も様々なところで卒業生と会えるのが楽しみです。

第49回全国学校保健・学校医大会

会長 林 鐘 声

10月27日（土）、鹿児島市にて上記大会が日本医師会主催、鹿児島県医師会担当で開催され、全国から566人、京都府医師会からは12人（うち京都市学校医会は9人）が参加しました。

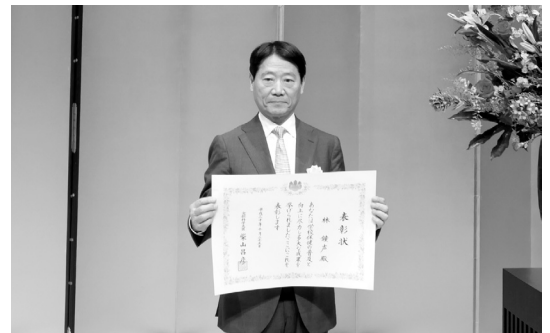
朝の5つの分科会の48演題のうち、京都府医師会からは、木崎善郎先生の「京都市学校検尿（尿糖）の13年のまとめと今後の課題」、柏井真理子先生の「眼科学校保健の現状と課題～日本眼科医会アンケート調査より～」と私の「3年目の運動器検診一現状と課題一」の3題の発表を行いました。

昼からのプログラムは、開会式、シンポジウムの順でした。昭和45年に第1回大会を秋田県医師会が担当して以来、途中で秋田県、北海道が2回担当するなどもあり、この第49回を以って全国都道府県を一廻りしたことになります。聞くところによると、この大会の前身の学校医大会のしんがりを務めたのも鹿児島県であったそうです。そのこともあってのことと考えますが、担当医師会が企画するシンポジウムの今年のテーマである「次代を担う子どもたちの健やかな成長・発展のために～考えよう学校医の役割～」とその内容は、掉尾をかざるという意気込みが伝わるものでした。これからの学校医は、これまでの重要な役割であった「学校健診」と「健康相談」に加え「健康教育」に更に力を注ぐと同時に、健康（福祉）と教育の両方に軸足を置く学校医にこそ、双方を切れ目なく橋渡しする活動が望まれることを強調するものになっていました。

最後に行なわれた特別講演は、加来耕三氏による「明治維新を成し遂げた薩摩の教育」でした。幕藩体制から日本という中央集権国家をつくる過程での薩摩の果たした役割を題材とした、その達者な語り口は、理念先行の難しいシンポジウムを聞いた後だけに、とても楽しい時間を演出するものになっていました。

第50回大会は埼玉県医師会が担当し、来年の11月23日（土）、さいたま市での開催予定です。

また、この大会に先立ち、平成30年度全国学校保健・安全研究大会が文部科学省主催で10月25日、26日に同地で開催され、25日には、文部科学大臣賞の授与式があり、学校保健の部門で私とその荣誉に与りました。この場を借りて、そのご報告とともに、諸先輩方、皆様方のご指導、ご鞭撻のお陰と感謝しお礼を申し上げます。



文部科学大臣賞を授与された林鐘声会長

第6回 常任理事会

平成30年11月8日

於 事務局

出席者 林会長，井本・杉本副会長，山内専務理事，東道・西村・中嶋各常任理事，佐野眼科学校医会副会長，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 10/11
2. 京都市中学校選手権総合体育大会
ラグビーフットボール種目 於：宝ヶ池球技場
10/13 竹中先生，10/21 十倉先生
柔道種目 於：京都市立桂中学校 10/27
出務医なし，10/28 児嶋先生
3. 平成30年度京都市学校保健会健康教育シンポジウム 10/16 於：京都市総合教育センター
4. 京都市小学生第47回陸上競技・第38回持久走記録会 10/21 杉本先生 長村先生
参加者激減 記録に時間がかかっていた
怪我2名(うち1名手首骨折)
5. 「肥満とやせの指導マニュアル」検討委員会
10/22 14:00～ 於：京都市総合教育センター
養護教育委員会が検討する 次回は12月
6. 平成30年度全国学校保健・安全研究大会
10/25～27
第49回全国学校保健・学校医大会 10/28
於：鹿児島県鹿児島市
7. 子どもの健康週間子育て支援シンポジウム
10/27 於：こどもみらい館
参加者107名(うち医療関係者10名)
8. その他
医療的ケア学校見学会(11月28日水)
11:50～13:40

<協議事項>

1. 平成30年度下半期ツベルクリン反応検査
出務医について 京都市立総合教育センター分
2. 新年会日程について 1/12 17:30～
於：室町和久傳
3. 新任校医研修会について 3/28
4. その他
学校医複数配置校について

<関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 11/8
2. 平成30年度京都市学校保健会研究発表会，表彰
祝賀会・懇親会 11/10
14:00～ 研究発表会
於：京都市総合教育センター
17:00～ 表彰祝賀会・懇親会
於：からすま京都ホテル
3. 第7回常任理事会 12/1
4. その他

